

アドフラットエルス専用 騒音計システム 振動レベル計システム

特長

LED表示板(エルス)

騒音や振動を自動で測定し、アドフラットエルスに騒音、振動レベルをリアルタイムで表示するシステムです。

アレンジ表示可能

騒音振動計以外も表示ができるので、情報量も多く、現場状況に合わせた掲出が可能です。

結果を自動収録

SDカード(512MB)が内蔵されており、計測結果を自動収録することができます。

風雑音を軽減

全天候ウィンドスクリーンを装備しており、風のある屋外でも風雑音を軽減できます。

延長ケーブル

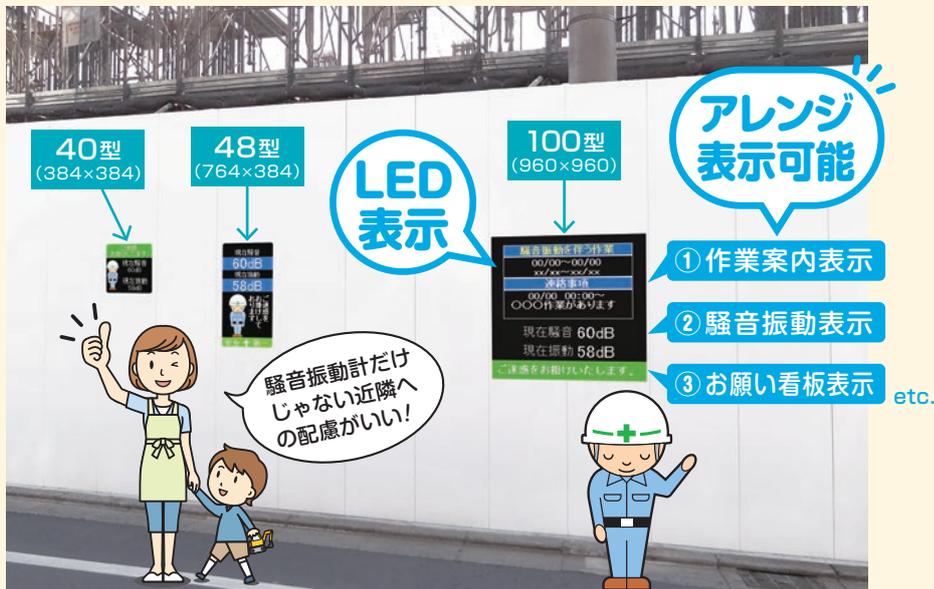
各センサーケーブルは最大100mまで延長が可能です。

後付け可能

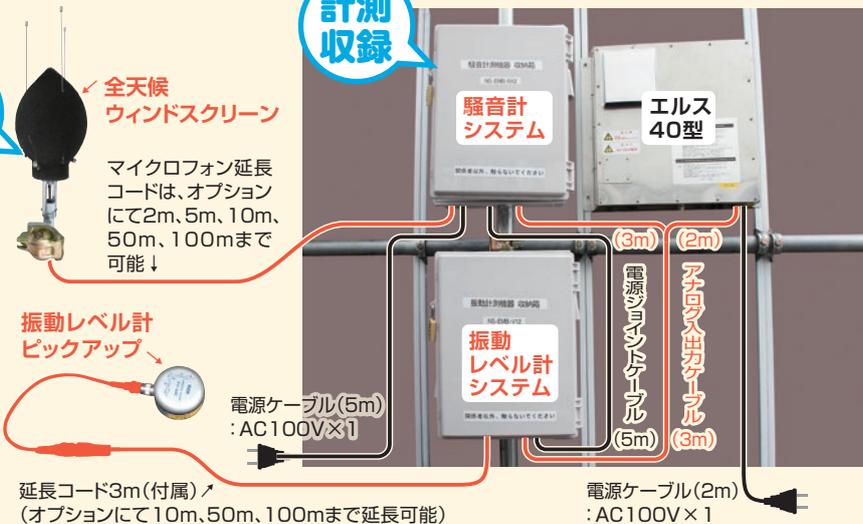
40、48、100型を導入済の現場でもこのシステムを後付け出来、騒音振動のレベル値を含めたコンテンツの表示が可能です。

■ アドフラット設置(表面)

()内寸法はmm



■ アドフラット設置(裏面)



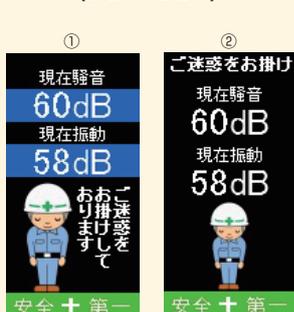
サンプルコンテンツ

()内寸法はmm

40型 (384×384)



48型 (764×384)



① 100型 (960×960)



②



騒音計システム 振動レベル計システム

特定建設作業に係る規制基準値 [敷地境界における基準値]

制の種別	地域の区分	騒音	振動
基準値	[1] [2] [3]	85dB	75dB
作業時間	[1]	午後7時～翌日の午前7時の時間内でないこと	
	[2]	午後10時～翌日の午前6時の時間内でないこと	
1日あたりの作業時間	[1]	10時間を超えないこと	
	[2]	14時間を超えないこと	
作業期間	[1] [2] [3]	連続6日を超えないこと	
作業日	[1] [2] [3]	日曜日その他の休日でないこと	
備考	[1] 地域:	ア	第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、田園住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、都市計画区域で用途地域
		イ	工業地域及び工業専用地域のうち、学校、保育所、病院・診療所（患者の入院施設を有するもの）、図書館、特別養護老人ホーム及び、幼保連携型認定こども園の敷地の周囲80mの区域
	[2] 地域:	工業地域（[1]地域のイの区域を除く。）	
	[3] 地域:	工業専用地域（[1]地域のイの区域を除く。）	

さまざまな音のレベル (騒音規制値85dB)

音響パワー (W)	音圧 (Pa)	騒音レベル (dB)	騒音の大きさの例
10^{-12}	2×10^{-5}	0	1kHzの最小可聴値
10^{-10}	2×10^{-4}	20	ささやき声 (10-20dB)
10^{-8}	2×10^{-3}	40	静かな室内 (30-40dB)
10^{-6}	2×10^{-2}	60	通常の会話 (50-70dB)
10^{-4}	2×10^{-1}	80	幹線道路沿い (70-80dB)
10^{-2}	2×10^0	100	近傍で聴く 大型トラックの走行通過時音 (90-105dB)
10^0	2×10^1	120	近傍で聴く ジェット機の離陸音 (100-120dB)
10^2	2×10^2	140	音として聴ける限界 (130-135dB)

(2019年 理科年表より引用)

振動レベルと震度の目安 (振動規制値75dB)

振動レベル	55dB以下	55~65dB	65~75dB	75~85dB	85~95dB	95~100dB
震度	0(無感)	1相当(微震)	2相当(軽震)	3相当(弱震)	4相当(中震)	5弱相当(強震)

(気象庁、環境省資料より引用)

仕様

騒音計システム	
測定器	リオン製 NL-42 (型式承認番号 第TS163号)
表示範囲	0 ~ 100 dB
記録方法	SDカード (512MB)
電源	AC100V
消費電力	3W
使用温度範囲	-10℃ ~ 50℃
サイズ	W380×L460×T160 (クランプを除く)
重量	6.2kg

振動レベル計システム	
測定器	リオン製 VM-55 (型式承認番号 第TW161号)
表示範囲	0 ~ 100 dB
記録方法	SDカード (512MB)
電源	AC100V
消費電力	4W
使用温度範囲	-10℃ ~ 50℃
サイズ	W380×L460×T160 (クランプを除く)
重量	6.5kg

【使用上のご注意】

- 1) 本器を落としたり、振動、衝撃を加えないでください。
- 2) エルス本体と騒音計、振動計の接続コードは3mが標準仕様となっております。
- 3) 分解、改造はしないでください。
特に測定器の改造は型式承認外品および検定外品となりますので、ご注意ください。
- 4) 振動計のピックアップは、不同沈下が起こらないよう安定した地盤でご使用ください。
- 5) コードやケーブルを持って引き抜くなど無理な力をかけないでください。
- 6) 各センサーケーブル延長の際は、現場状況を事前にご確認ください。